

～ビジット釜山パスで釜山の観光がより便利に～

下関市総合政策部国際課
(釜山広域市派遣職員)
松村 康代

안녕하세요!

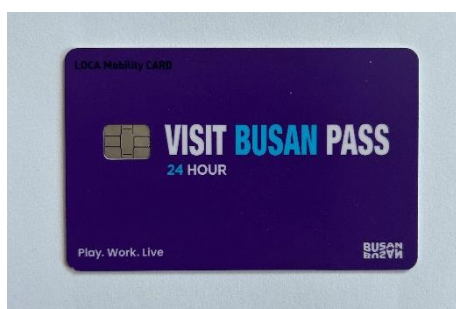
ビジット釜山パス (VISIT BUSAN PASS) という外国人向けの観光フリーパス券が2023年の2月に発売されました。これは、有料観光施設30カ所以上を自由に入ることができ、他にも飲食店での割引など、さまざまな特典を受けることができるパス券です。パスは24時間券(4万9千ウォン)と48時間券(6万9千ウォン)があります。今回は、実際に24時間パスを使い、釜山の観光を試してみましたので紹介します。

1日目、最初にパスを使ったのは、海雲台(ヘウンデ)にあるブルーラインパークという観光列車でした。パスの有効期限は初回の利用から24時間です。正午にパスを利用しましたので、翌日の正午前までパスを使うことができます。釜山の海を一望できる観光列車に乗り、気持ちのいいスタートとなりました。列車を降りた後は、釜山エクスザスカイ(BUSAN X the SKY)とミュージアムワン(MUSEUM1)へ。釜山エクスザスカイは、海雲台ビーチの近くにある100階建ての展望台で、オープン以来、多くの人気を集めています。また、メディアアートの現代美術館であるミュージアムワンでは、映像美を思う存分楽しむことができます。夕方にはダイヤモンドベイのヨットツアーに参加しました。夕日に照らされた広安里(クァンアンリ)や海雲台といった海辺の人気観光スポットの海からの眺望は格別で一度は見ておくべきでしょう。そしてこの日の最後は、ホテルアクアパレスにあるスパでサウナと温泉に入り、一日の疲れを癒しました。今回挙げた施設はどれもパスで利用ができます。スパもビジット釜山パスが使えるなんて便利ですね。

翌日は、釜山の観光名所を循環しているシティツアーバス一日券を利用することにしました。シティバスに乗れば、人気観光スポットも簡単に行くことができます。バスを利用し、海岸散策路で人気を集めているヒンヨウル文化村で下車、散策をした後、向かったのは松島(ソンド)海上ケーブルカーです。ケーブルカーや松島龍宮吊橋で松島の風景を堪能し、ここでパスの有効期限の24時間が到来しました。施設利用額は全部で150,000ウォン分ですが、パスを使ったため、お得に観光スポットを巡ることができました。なお、ビジット釜山パスが有効期限を迎えても、シティツアーバス一日券は引き続き利用が可能でしたので、シティバスツアーを利用しチャガルチ市場で降り、国際市場やB I

F F 広場で買い物をしました。

パスは実物カードとアプリの2つあります。実物はプリペイド式の交通カード機能も搭載しています。釜山の観光を十分に満喫できるビジット釜山パス、ぜひ有効活用してください！



ビジット釜山パスカード (24時間券)



シティバスツアーのバス